

オンライン授業に関するアンケートに基づく教学改善

目的：コロナ禍におけるオンライン授業体制の試みについて、実際にオンライン授業を受講した学生の意見を収集し、今後の授業運営に反映できる要素を獲得する為。

調査時期：2021年9月24日（金）～10月1日（金）

調査方法：Google Form を用いた Web アンケート調査

調査対象：全学生（有効回答数 218 名）

1 年生：回答率 60.7%（84 名中 51 名）

2 年生：回答率 70.3%（74 名中 52 名）

3 年生：回答率 61.7%（60 名中 37 名）

【設問】

1. オンライン授業の「媒体」について（複数選択可）

- ①スマートフォン
- ②PC
- ③タブレット

2. オンライン授業の「通信環境」について（選択）

- ①自宅の Wi-Fi が 1 番多い
- ②その他

3. オンライン授業の「通信・機器の状態」について（選択）

- ①通信・機器の不具合で困ったことは、ほとんどない
- ②通信・機器の不具合で困ったことは、たまにある
- ③通信・機器の不具合で困ったことは、かなりある

4. オンライン授業全体に関するメリット、デメリットについて、感じていること
（各項目 はい/いいえ の 2 択）

- ①自分のペースで集中して学習することができる
- ②時間を有効に活用することができる
- ③自分で考えたり、調べたり、主体的に学習する機会が増える
- ④課題など自分自身で調べる機会が多く、記憶に残りやすい
- ⑤人目を気にせず、リラックスして受講できる
- ⑥教室で受講するよりも集中できる
- ⑦パソコンやタブレット等の機器に関する知識や操作技術が高まる

- ⑧登校による感染リスクを低減できて安心できる
- ⑨体調管理がしやすい
- ⑩目や耳、肩などの身体的な疲れをより感じる
- ⑪友達と一緒に学べず孤立感を感じる
- ⑫学習へのモチベーションを維持するのが難しい
- ⑬先生に質問しづらい
- ⑭課題の量が多い
- ⑮課題提出できているのか不安だった
- ⑯インターネットの環境が良くない

5. 同時双方向型授業に関するメリット、デメリットについて、感じていること

(各項目 はい/いいえ の2択)

- ①先生や他の学生とやりとりできるので楽しい
- ②先生や他の学生の反応が見られるので安心する
- ③先生に質問がしやすい
- ④画面を見る集中力が続かない
- ⑤安定したネット環境がないため接続に不安がある
- ⑥Meet や zoom の操作に慣れていないため不安がある
- ⑦授業内容がわかりにくい
- ⑧対面授業よりも授業内容が薄いと感じる
- ⑨遠隔でのディスカッションはやりづらい
- ⑩画面が固まったりして、聞き逃してしまうことがある

6. オンデマンド型授業に関するメリット、デメリットについて、感じていること

(各項目 はい/いいえ の2択)

- ①好きな時間に学修できるので受講しやすい
- ②動画を何度も見返すことができ復習しやすい
- ③再生スピードの調整や停止ができ復習しやすい
- ④授業の感想や課題をじっくり考える時間がとれる
- ⑤先生に質問がしにくい
- ⑥集中力が続かない
- ⑦ネット環境が十分ではないため動画視聴が負担である
- ⑧授業内容がわかりにくい
- ⑨対面授業よりも授業内容が薄いと感じる

7. オンライン授業全体についての意見や気づいたこと (自由記述)

【アンケート結果に基づく教学改善】

アンケート結果を踏まえ、以下に記す改善を行ったうえで、2024年度より前期・後期それぞれ2週間のオンライン授業ウィークを設定した。

①対面式授業との併用

オンライン授業自体には好意的な意見が多かったものの、中には対面式の授業を望む声もあった。そこで、2024年度から実施するオンライン授業は基本的にハイフレックス型での実施とすることで、学生が同時双方向型で受講するか、対面で受講するか選択できるように改善を行った。

②課題について

自由記述にも多く挙げられた課題に関する要望を踏まえ、質・量に加え、期限にも配慮し、学生の理解深化とストレスのバランスに改善を図った。